

コンテッサ 1300 クーペ

コンテッサ以来5年間の沈黙を破って発表されたコンテッサ 1300 クーペは同社の強力なニューモデルである

発表されたのは昨年の8月末でセダンと時を同じくしている。しかし、発売は12月からであったがクーペの量産体制が完全に調わず需要に応じ切れなかったが、この4月から量産体制も調い本格的に発売されることになった。価格は税率の変動により東京店頭渡し価格は85万8000円に改められている。

ボディ・スタイルはセダンと同様イタリアのカー・デザイナー G・ミケロッチィである。フロント・ビューはセダンのデラックス・モデルと共通しているが、サイドモールドは廃しプレス・ラインでアクセントがつけられたシンプルでデザインであるが流れるような曲線を描くルーフ・ラインは、クーペ独得の美しさをもっている。

エンジンはセダンと同じ水冷直4 OHV 1251cc. ボア×ストローク 71×79mm 圧縮比 9.0であるが、キャブレターはSUを2コ備えたツイン・キャブである。これによって最高出力はセダンより10psアップした65ps/5500rpmである。最大トルクも3800rpm時で10.0kgmと増大している。左に30°傾斜させて支持されたエンジンは、リアに搭載され

駆動方式もリア・ドライブと基本的にはセダンと変わっていない。このエンジンに組合される4速のギア・ボックスはフルシンクロとなっている。

最高速度 145km/hをマークするクーペのサスペンションは、前後とも独立懸架で、前がウィッシュボーン式でボールジョイントとトーションバー・スプリングを併用している。後はスイング・アクスル式でコイルとラジラス・アームを併用している。高速時あるいは旋回時の安定性を高めるために、クーペの場合はセダンよりスプリングが固めになっている。

ブレーキは前輪にディスク・ブレーキが採用され、高速時における制動効果を確実なものにしている。

主要機構はセダンと同一であるが、走行性能はスポーツ・モデルとしての持味をじゅうぶん持合せた軽快なモデルである。

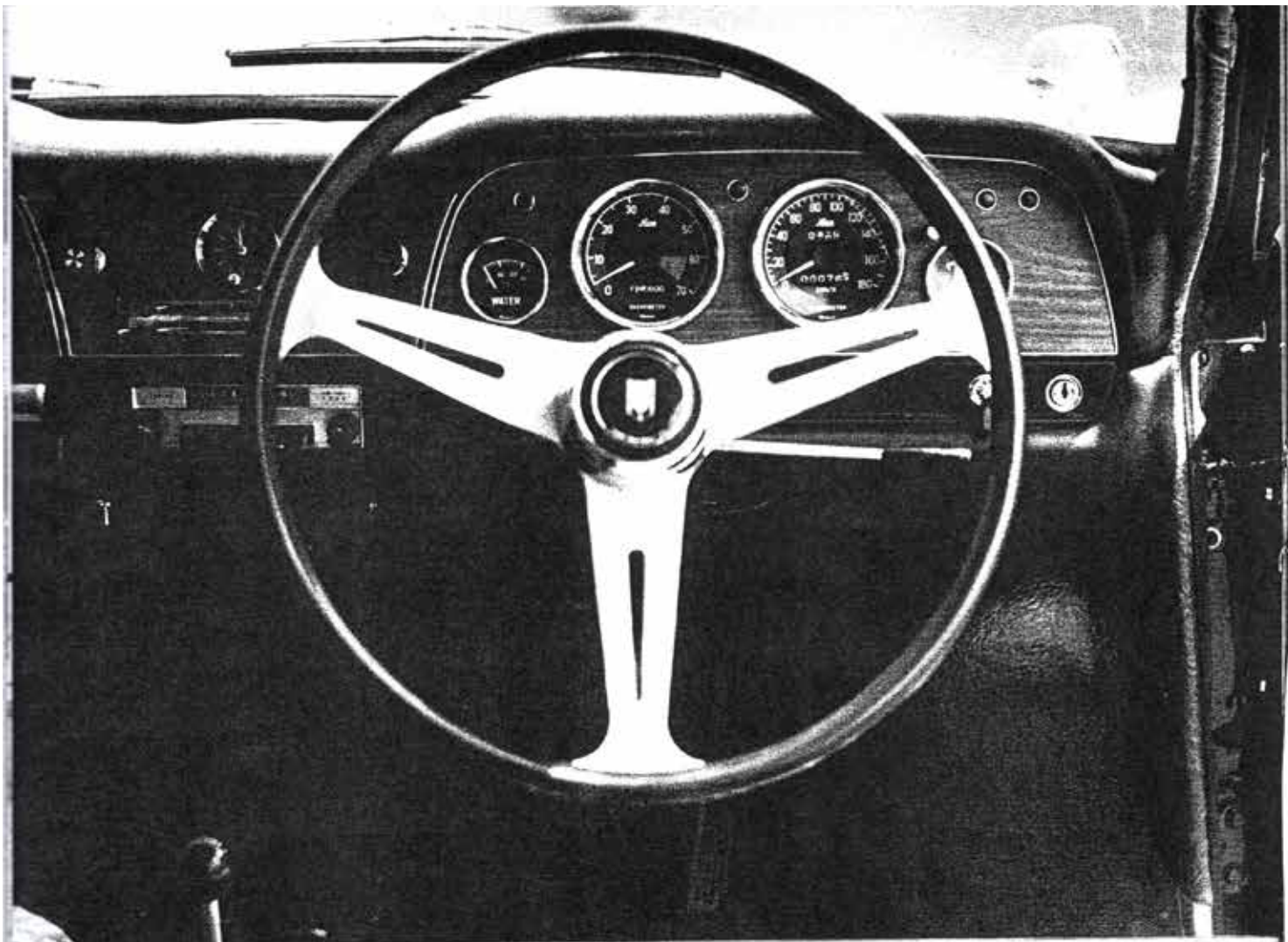
全長×全幅×全高 4150×1530×1340mm ホイールベース 2280mm 車両重量 945 kg 定員 4名 エンジン 水冷直4 OHV 1251cc. ボア×ストローク 71×79mm 圧縮比 9.0 最大出力 65ps/5500rpm 最大トルク10.0kgm/3800rpm 最高速度 145km/h トランスミッション 前進4段 後進1段 フルシンクロ



▲ スマートなボディからうけるこのモデルは いかにも軽快なスポーツ・モデルという印象が強い。サスペンションはセダンと同様であるが、スプリングを固くし、高速時および旋回時の安定性を高くしている

▼ ボディの曲線をより生かすためにサイドウィンドーはカーブ・ガラスが採用されている





3本スポークのステアリング・ホイールの前方には、フードで覆われたパネルがあり、このパネル中央右に180km/hまで刻まれたスピード・メーター、左に7000rpmまでのタコ・メーター、レッド・ゾーンは6000rpmからである。シフト・レバーはセダンと異なり垂直である。

シートはバケット・タイプが採用されている。リア・エンジン車であるためフロントのフロアは平面で広いスペースを確保している。